学校番号	T0106

平成 31 年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂　新数学Ⅰ（東京書籍）						
副教材等	教科書の内容に関連した別教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次までで学習した内容を確認し，それを基に数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深めます。第１回授業時にファイルを配布します。授業プリントや問題プリントを整理し，各自復習等に用いましょう。授業プリントで学習した内容を問題プリントで確認し、知識の定着を図ります。問題プリントは実施ごとに回収し，評価の対象とします。毎回しっかりと取り組みましょう。授業への取り組み状況も評価の対象となります。遅刻や欠課をせずに，しっかりと出席しましょう。

2　学習の到達目標

図形と計量、データの分析についての基礎的な知識や技能を習得しましょう。様々な事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	授業の内容に対して興味をもち、意欲を持って演習や課題に取り組むことができる。また、習得した数学的な知識や考え方を様々な問題を解決する道具として数学を活用しようとする態度をもっている。	図形やデータの分析など、数学の授業で得た知識や考え方を様々な問題を解決する道具として活用することができる。	問題を解決する道具として数学を活用するために必要な計算力や表現力、処理能力を身につけている。	授業で扱う数学的な図形の仕組み、データ分析のルール、計算の方法などの基本的な数学の仕組みを理解している。
評価方法	出席状況、授業態度提出物、定期考査等	授業・問題プリント提出物・授業態度・定期考査	授業・問題プリント提出物・授業態度・定期考査	授業・問題プリント提出物・授業態度・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	三角比	三角形	○				a: 角の大きさなどを用いた計量に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、具体的な事象の考察に活用しようとする。 b: 数学的活動を通して、方程式と不等式、二次関数及び図形と計量における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。 c: 方程式と不等式、二次関数及び図形と計量において、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決する。 d: 方程式と不等式、二次関数及び図形と計量における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。	出席状況、授業態度、問題プリント定期考査
		タンジェント	○	○		○		
		サインとコサイン	○	○		○		
		三角比の利用		○	○	○		
		三角比の相互関係		○	○	○		
		三角形の面積	○	○				
		正弦定理			○	○		
		余弦定理			○	○		
後期	データの分析	データと度数分布表	○				a: データの分析における考え方や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に進んで活用しようとする。 b: データの分析における数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的にとらえ，論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	出席状況、授業態度、問題プリント定期考査
		代表値		○		○		
		散らばりぐあいを表す値	○			○		

		分散と標準偏差		○	○	○	c: データの分析において，事象を数学的に考察し，表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け，よりよく問題を解決する。 d: データの分析における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付けている。	
		相関関係		○	○	○		
		相関係数		○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方

c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。